

認知症の人への接し方



自分がこれまでと違うことに最初に気づくのは本人です。

どんな気持ちで過ごしているのかを知って、優しく温かい気持ちで接することが大切です。

具体的な対応の7つのポイント

(参考：全国キャラバンメイト連絡協議会「認知症を学び地域で支えよう！」)

- ①まずは見る
- ②余裕をもって対応する
- ③声をかける時は一人で
- ④後ろから声をかけない
- ⑤相手の目線に合わせて
- ⑥穏やかに、はっきりと
- ⑦相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応

接する時に心がけたい”3つの「ない」”

- ①驚かせない
- ②急がせない
- ③自尊心を傷つけない

①ご本人のことをよく知る

認知症の周辺症状はご本人のこれまでの人生と密接に関係しています。ご本人のことをよく知り、その人にあった接し方を見つけましょう。

②現実を教えようとしない

妄想はご本人にとっては「本当のこと」です。間違いを訂正しても気分を害して感情的になるだけです。事実を教えようとせず、他の接し方を探りましょう。

③ご本人の話に合わせる

「まだ食べていない」と言われたら「今作っているからもう少し待って」と言うと相手は落ち着きます。ご本人の話に合わせて対応すれば、ご本人は混乱せず介護する側も楽になるでしょう。

認知症の介護6つのポイント

④「常識」をおしつけない

同じものを着続けて着替えたがらない場合、介護者の「着替え」の常識と認知症の人とは別の価値観で生きています。できるだけ本人の思いを尊重してみましょう。

⑤生活環境を整える

石鹸を食べ物と思って口に入れるようになれば手の届かないところへ、部屋の中でトイレをしてしまうなら、ポータブルトイレを設置する等、家の環境を整え、ご本人の安全、介護の手間を減らす工夫が必要です。

⑥一人で抱え込まない

家族で介護を分担したり、介護保険サービスを利用したり、一人で抱え込まないことが大切です。オレンジカフェ（認知症カフェ）等に参加して同じ立場の仲間と交流することもよいでしょう。

～本人ご家族の方へ～

オレンジカフェ(認知症カフェ)

毎月第1木曜日・13:30～15:00 ほのほの活性化センター

認知症の方、家族の方、地域の方、どなたでも集える憩いの場です。
お茶を飲みながらおしゃべりしたり、ゲームや歌で楽しい時間を過ごします。

お問い合わせは：地域包括支援センターへ ☎0820-62-1780



